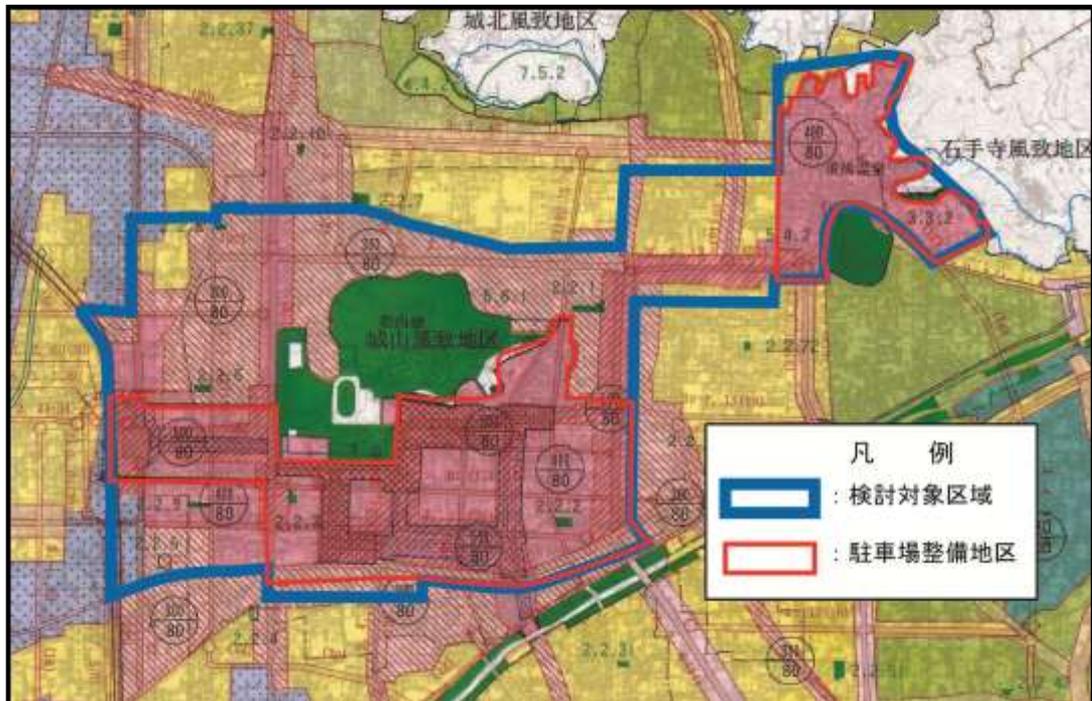


2. 駐車に関する現状

2.1 検討対象区域の設定

駐車場整備地区を含む区域を検討対象区域とする。

[検討対象区域]



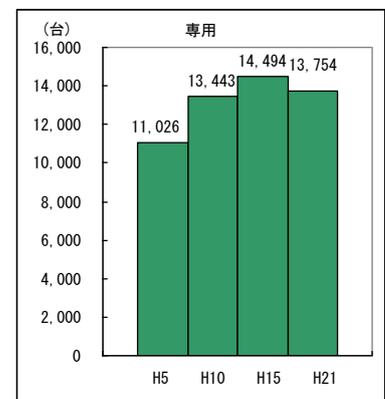
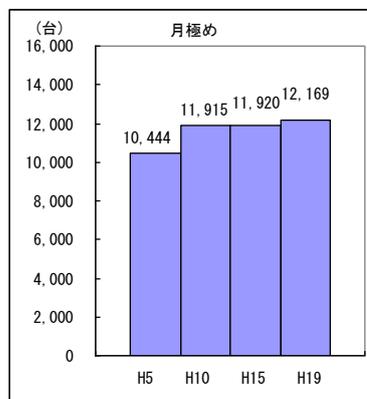
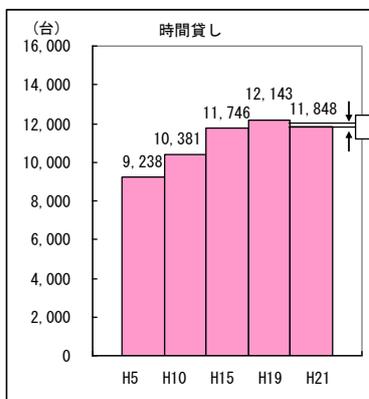
2.2 駐車に関する実態の把握

2.2.1 駐車施設の現況把握

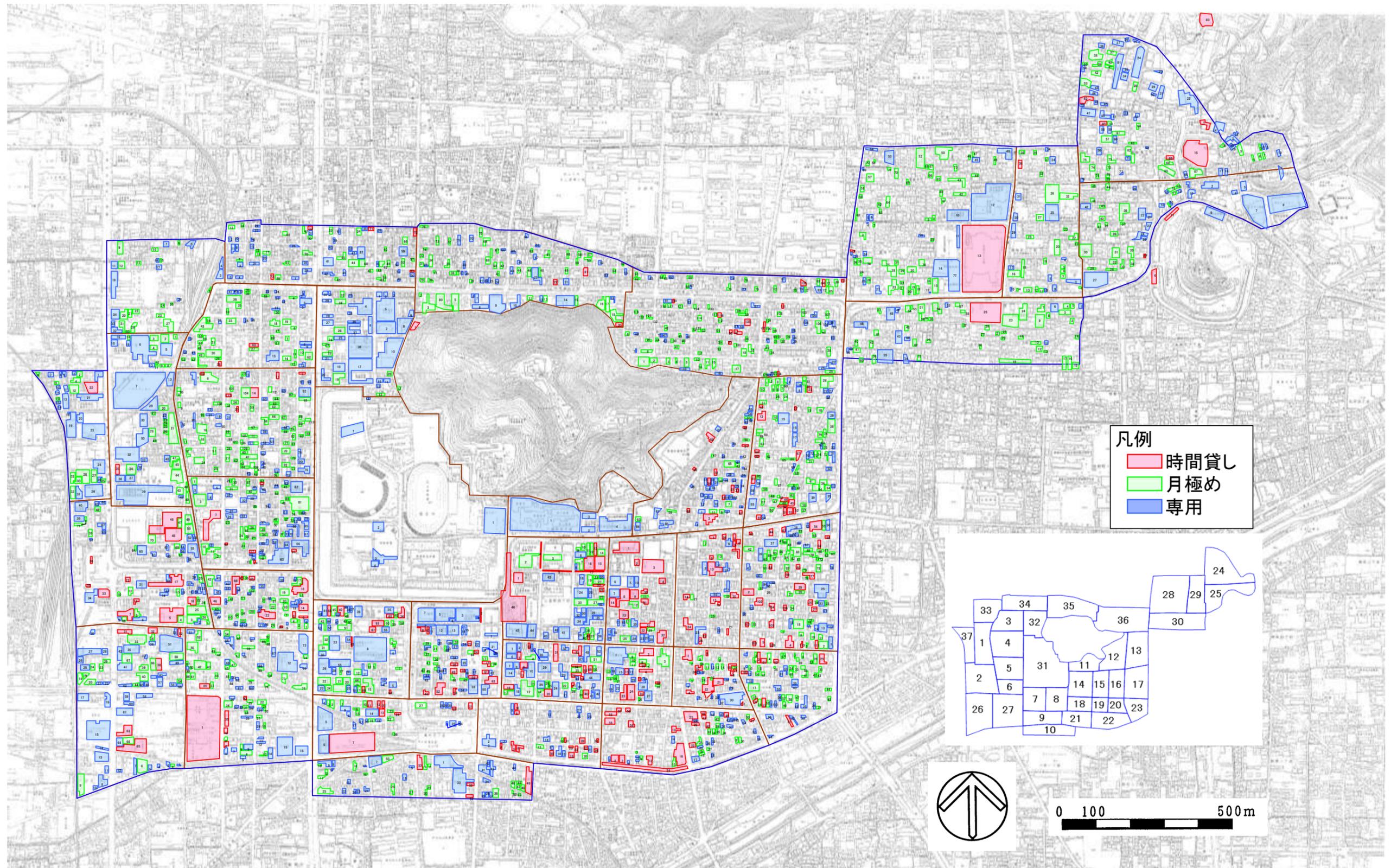
(1) 運営形態別施設容量と分布状況

調査対象区域における運営形態別の施設容量は、時間貸し駐車場および専用駐車場は過年度までは増加していたが、平成21年度では減少している。

[運営形態別駐車施設容量]



[運営形態別駐車施設分布状況]

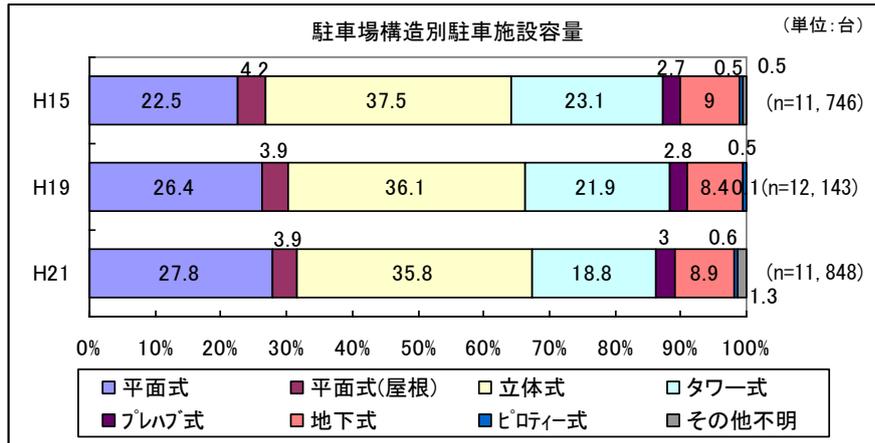


(2) 時間貸し駐車場の状況

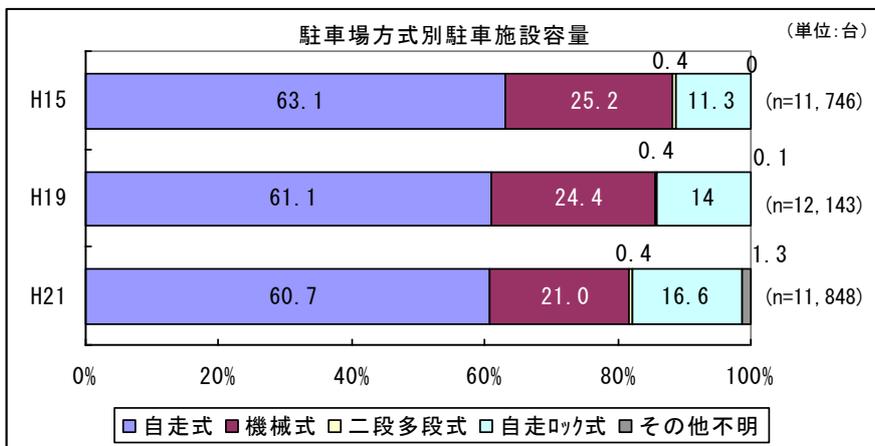
時間貸し駐車場の状況は、立地が容易なコイン式駐車場に代表される平面式駐車場の施設容量が全体の約3割を占め、タワー型駐車場の施設容量は、全体の約2割となっている。

自走ロック式駐車場は箇所数も容量も大きく増加しているが、一方、機械式駐車場は箇所数も容量も減少傾向にある。

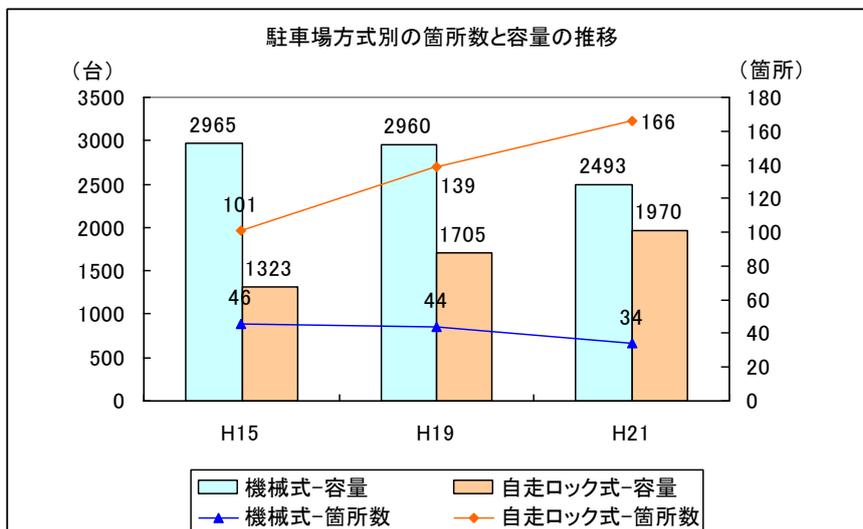
[時間貸し駐車場の駐車場構造別駐車施設容量]



[時間貸し駐車場の駐車方式別駐車施設容量]



[時間貸し駐車場の駐車方式別の箇所数と容量の推移]



2.2.2 駐車場利用実態の把握

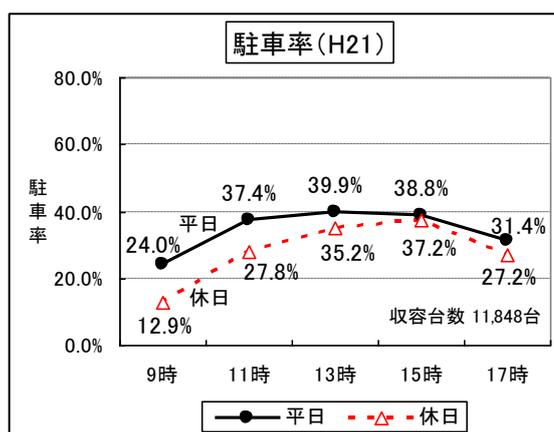
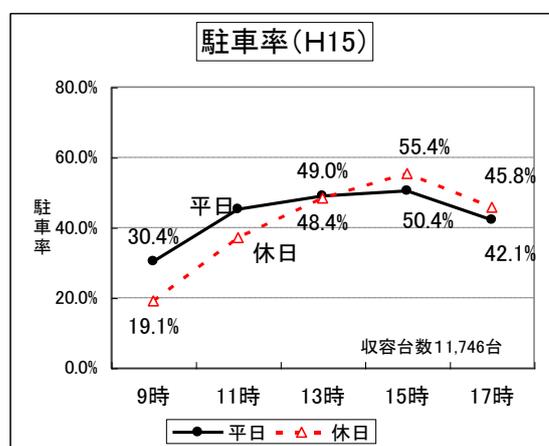
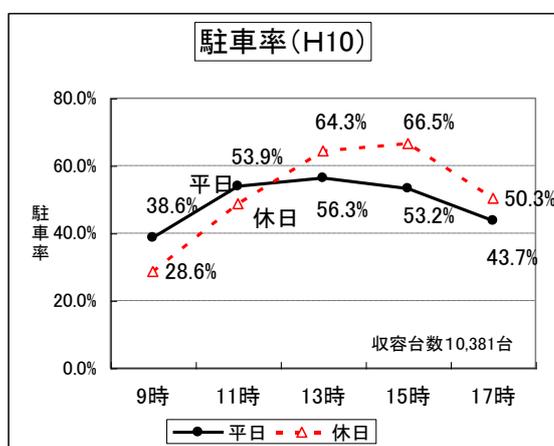
(1) 瞬間駐車台数の把握

平成10年度から平成21年度にかけて、平日・休日ともに駐車率が低下し続けている。

とくに平成21年度の駐車率はピークでも、40%以下であり、特に休日が大きく減少している。

平成21年度の駐車率のピークは平日が13時、休日が15時となっている。平日では11時から15時までは駐車率の変化は少ない。また、平成10年、15年では午後の時間帯は休日の駐車率が平日を上回っていたが、平成21年ではどの時間帯でも、休日の駐車率が平日より少なくなっている。

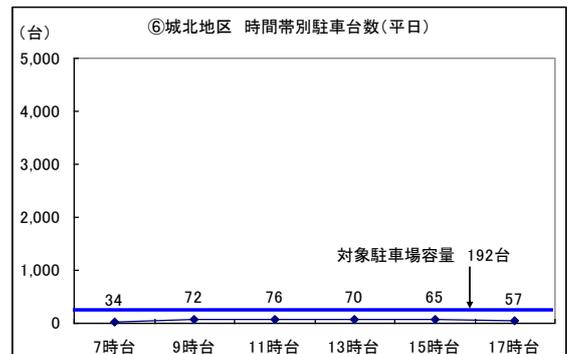
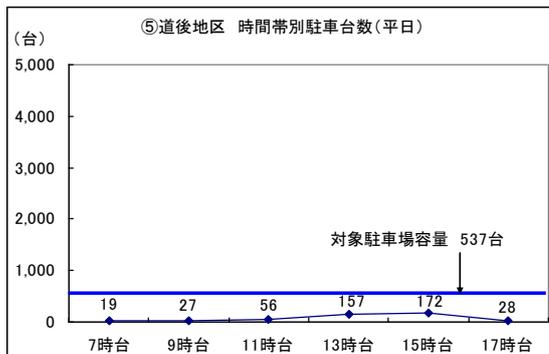
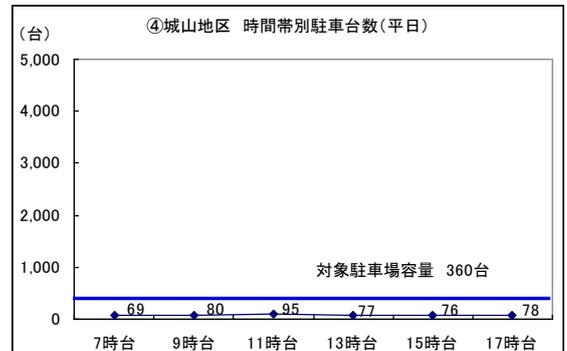
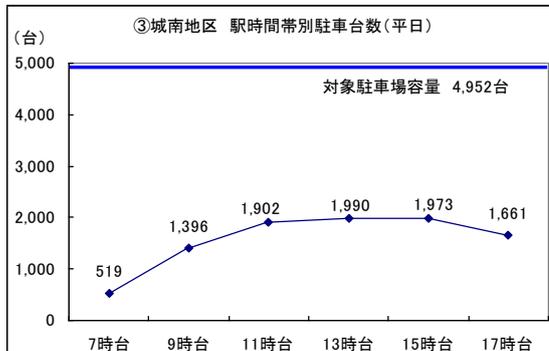
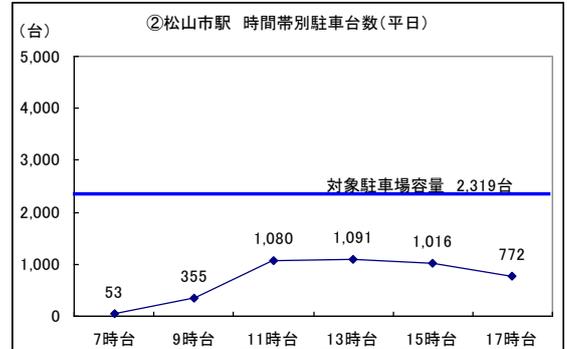
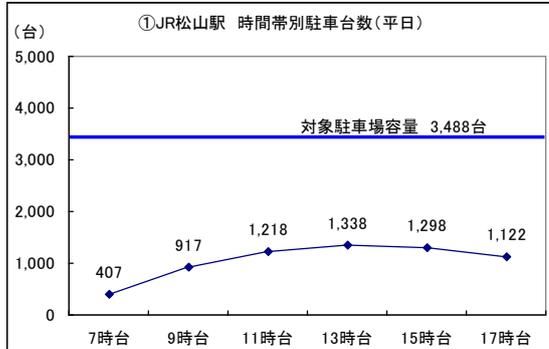
[時間貸し駐車場の駐車率]



時間貸し駐車場のブロック別利用状況は、J R松山駅地区、松山市駅地区、城南地区での駐車需要が多く、13時台に駐車需要のピークを迎えている。

いずれの地区においても、駐車場容量に対して駐車需要が少なく、地区単位で見ると供給量に余力があることが伺える。

[ブロック別時間貸し駐車場利用状況]



2.2.3 路上駐車台数の把握

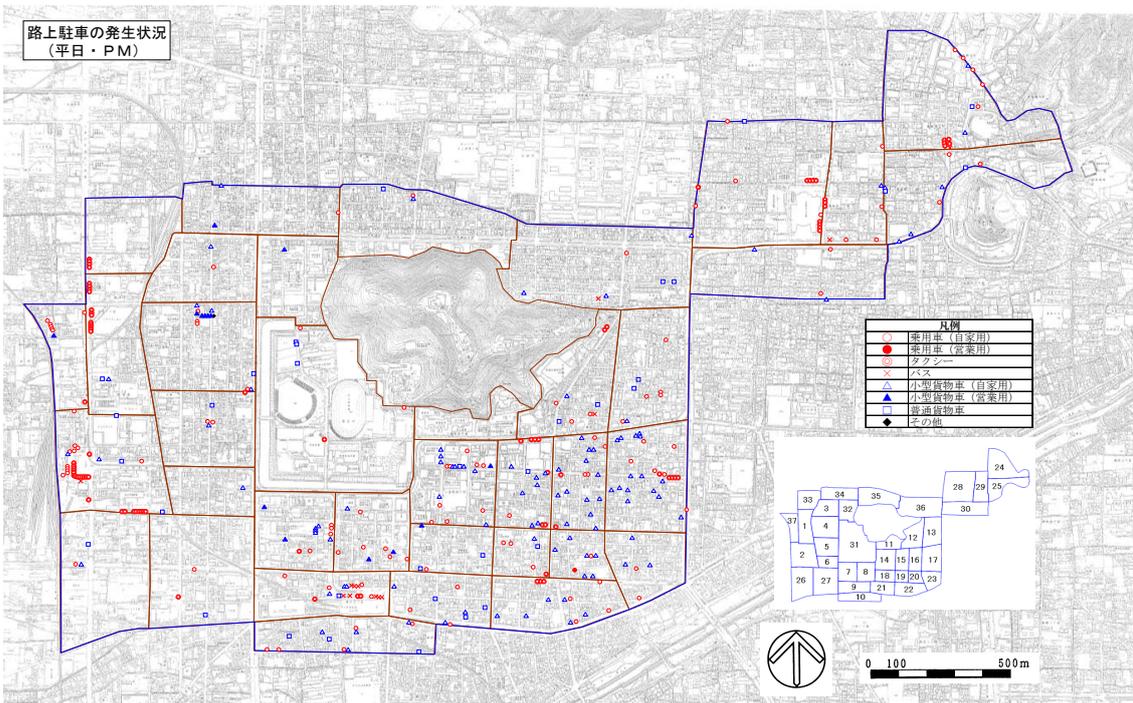
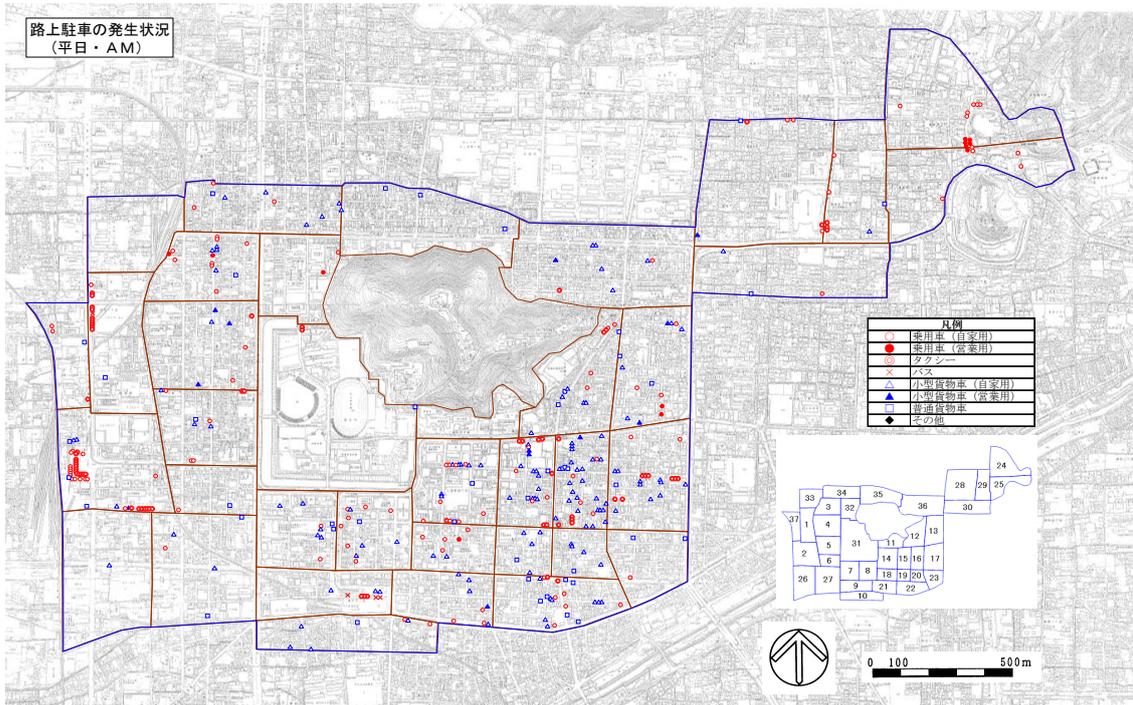
(1) 調査結果

平日の路上駐車状況は、午前・午後ともに、二番町通りや三番町通り付近などの商業地区において路上駐車が多く見られる。特に貨物系の車両が多い。

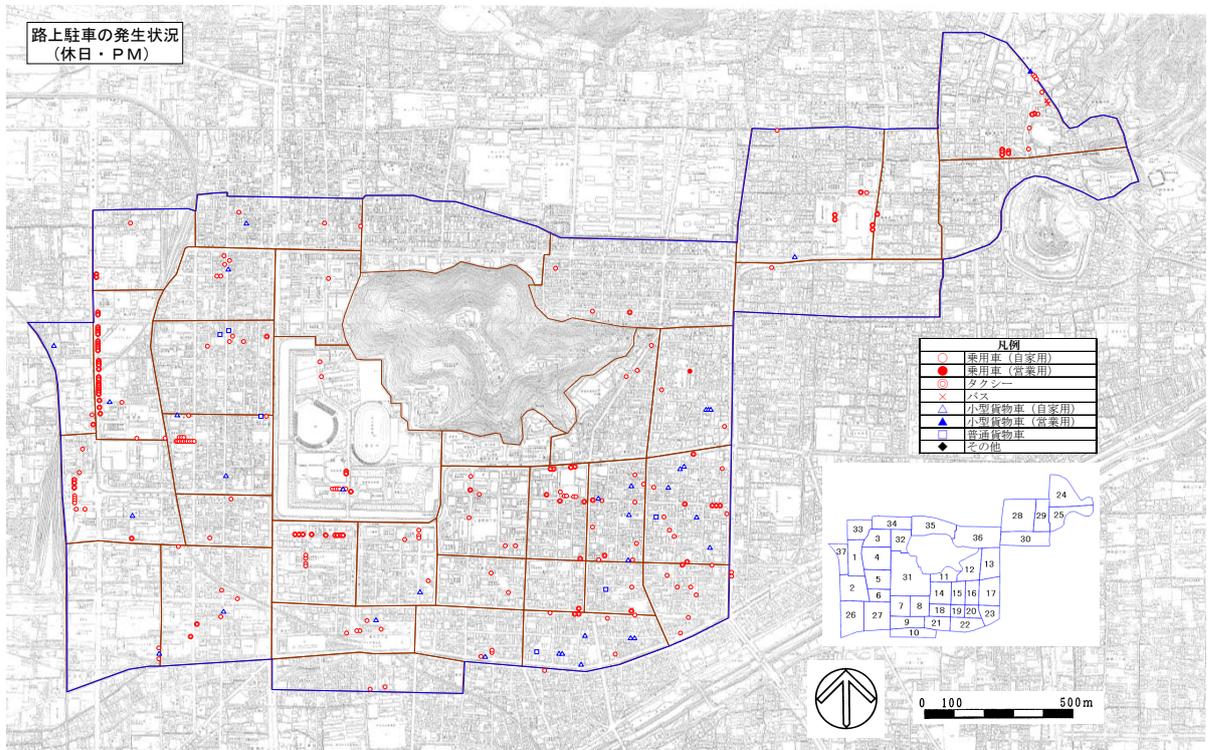
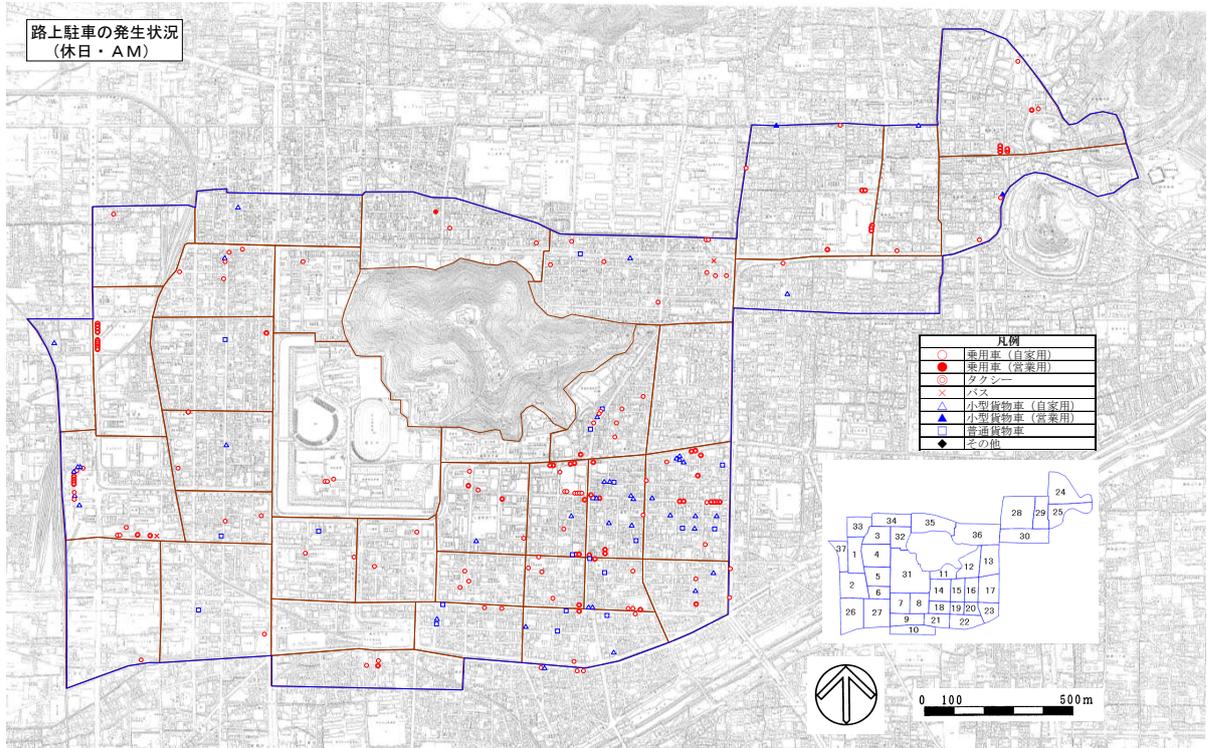
休日の路上駐車状況は、午前・午後ともに、二番町通りや三番町通り付近などの商業地区において、平日と比べて少ないが貨物系の車両の路上駐車が見られるほか、自家用車の路上駐車が多くなっている。

また、三越付近やJ R松山駅、J R松山駅北のフジグラン付近などにおいて、客待ちと思われるタクシーの路上駐車が多く見られる。

[平日路上駐車状況]



[休日路上駐車状況]



平成 21 年度調査

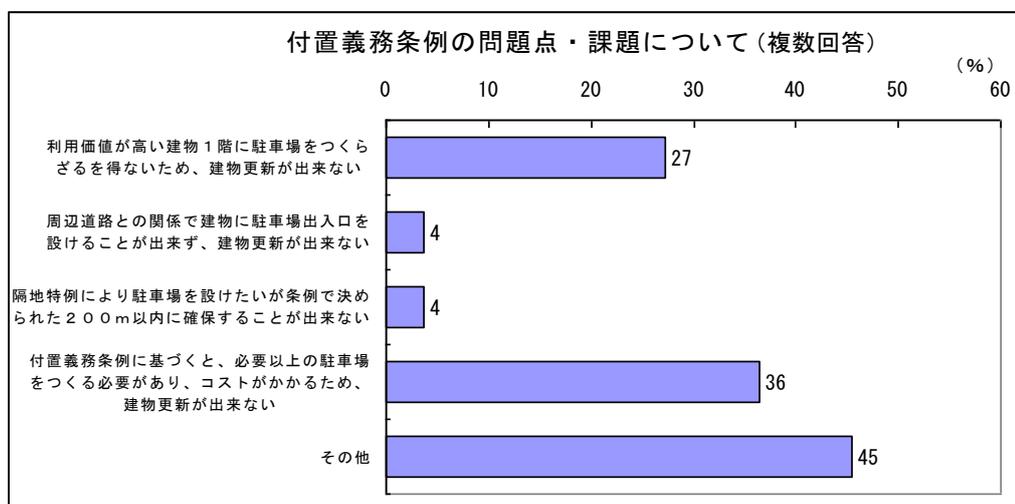
2.2.4 駐車場経営者の意向調査

(1) 附置義務条例について

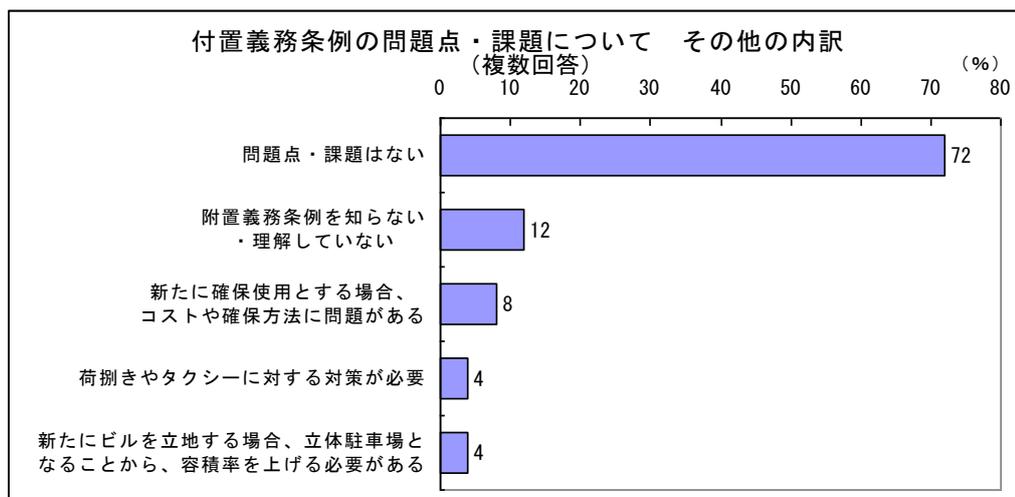
延床面積 1,000 m²以上の施設立地者の約 4 割弱が「附置義務条例に基づくと、必要以上の駐車場をつくる必要があり、コストがかかるため建物更新できない」と回答している。

また、「利用価値の高い建物 1 階に駐車場をつくらざるを得ないため、建物更新できない」との回答も約 3 割弱を占めている。

[附置義務条例の問題点・課題について]



[上記調査で「その他」と回答した内容の内訳]

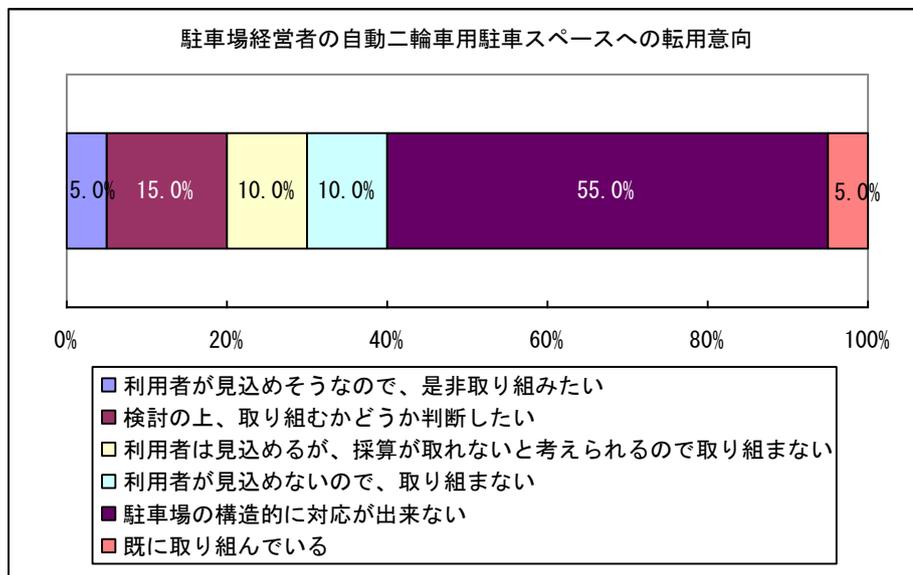
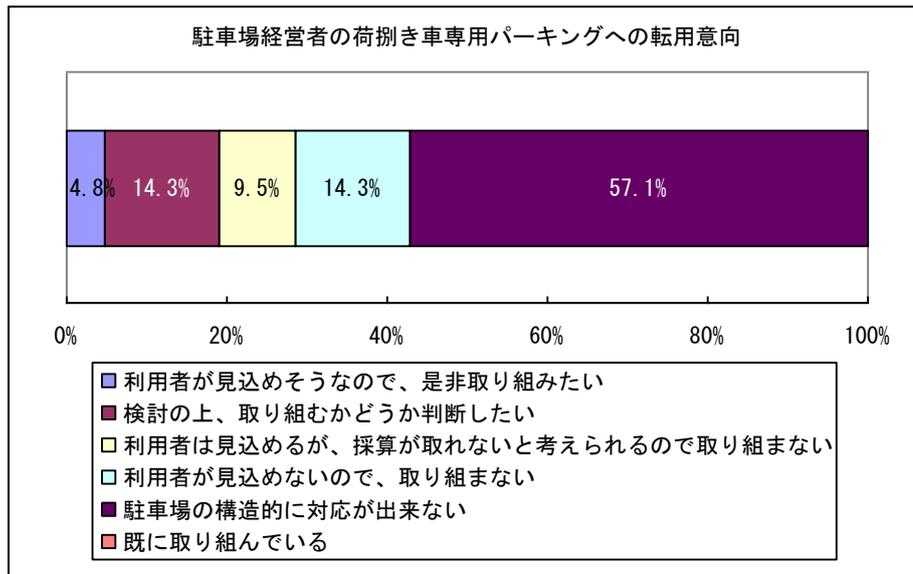


平成 21 年度調査

(2) 既存駐車場の転用に関する意向把握

既存駐車場を荷捌き車専用パーキングや自動二輪車用駐車スペースへ転用することについて、約2割が「検討の上、取り組むかどうか判断したい」と回答する一方で、半数以上は「駐車場の構造的に対応が出来ない」と回答をしている。

[既存駐車場の転用意向]



平成 21 年度調査

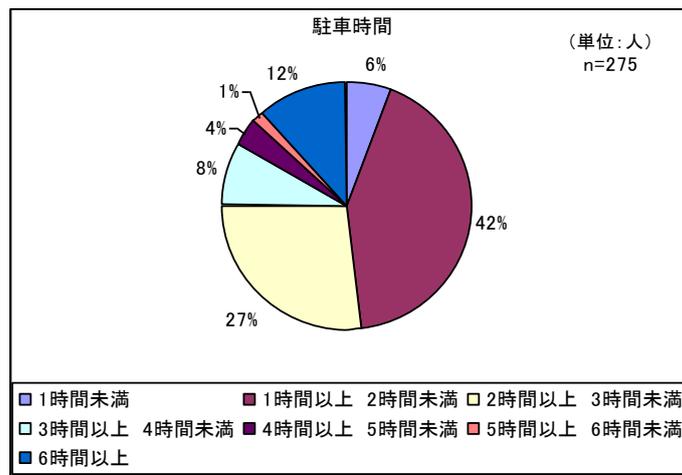
2.2.5 観光客の駐車特性の把握

(1) 駐車特性について

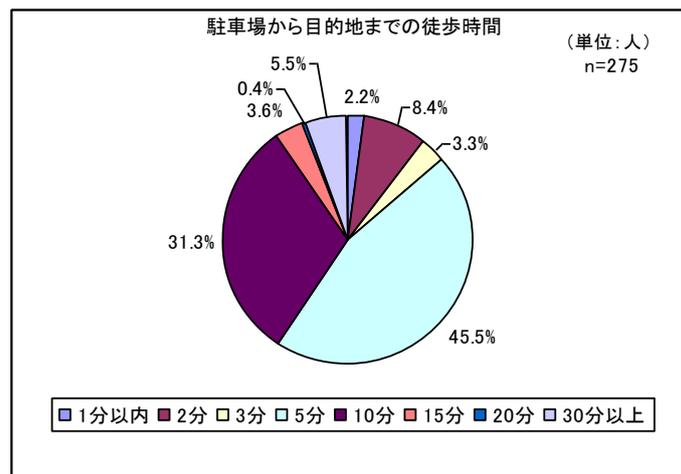
道後地区における駐車時間を見ると、3時間未満の滞在割合が75%を占めている。

駐車場から目的地までの徒歩時間は、10分以内が9割となっており、観光客の多くは目的地の近くにある駐車場を探して駐車している。

[駐車時間：道後地区]



[駐車場から目的地までの徒歩時間：道後地区]



平成 21 年度調査

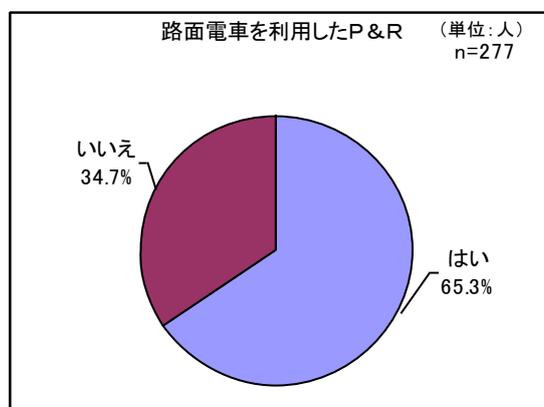
(2) パーク・アンド・ライド（P&R）の利用意向について

中心市街地の駐車場に駐車して、路面電車で道後地区へ向かうパーク・アンド・ライド（以下、P&R）については、約65%の人が「利用しても良い」と回答している。

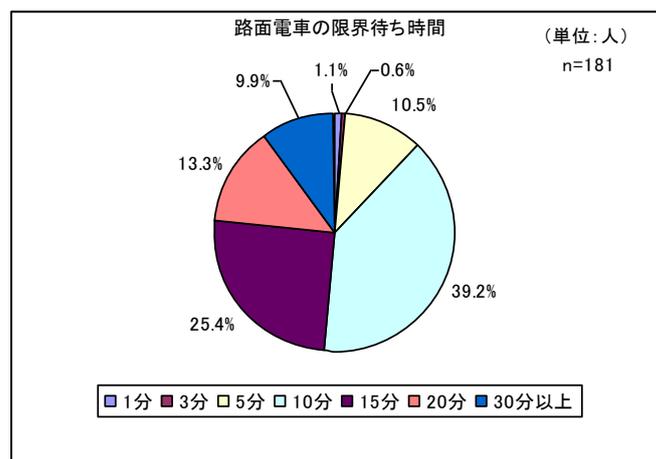
また、路面電車によるP&Rを「利用しても良い」と回答した人のうち、約半数は「10分までなら路面電車を待てる」と回答している。

現行の路面電車は、約7～8分間隔で中心市街地と道後地区を結んで運行していることから、路面電車を活用した観光駐車対策の検討が必要となっている。

[路面電車を利用したP&Rの利用意向]



[路面電車を利用したP&Rの利用意向]



平成 21 年度調査